令和7年度 境町介護保険事業状況報告

- 境町包括・地域密着型委員会 関連資料-

> 令和7年10月23日 境町役場介護福祉課

内容

(1)介護保険事業の状況について

(2) 地域包括支援センターについて

(3)介護保険事業計画について

境町の現況

人口 24,769人

高齢者数 7,309人

高齢化率 29.5%

(令和7年1月1日現在)

茨城県内 32番目/44保険者

(国立社会保障・人口問題研究所推計値)

地区別高齢化率

(第9期介護保険事業計画から)

境地区静地区

森戸地区

26.7% **34.2**%

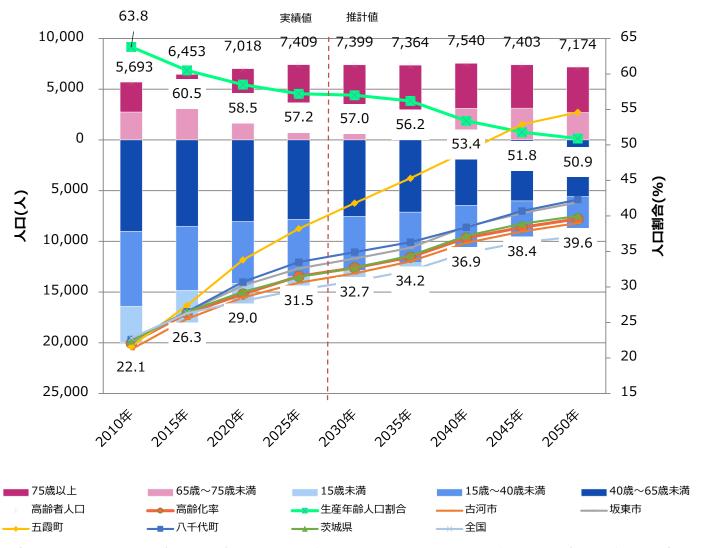
32.5%

長田地区 猿島地区

25.9% **33.7**%



境町の人口の推移



高齢者人口

2025年 7,409人

2030年 7,399人

2040年 7,540人

2040年にピーク

(団塊ジュニア世代が65歳)

生産年齢人口

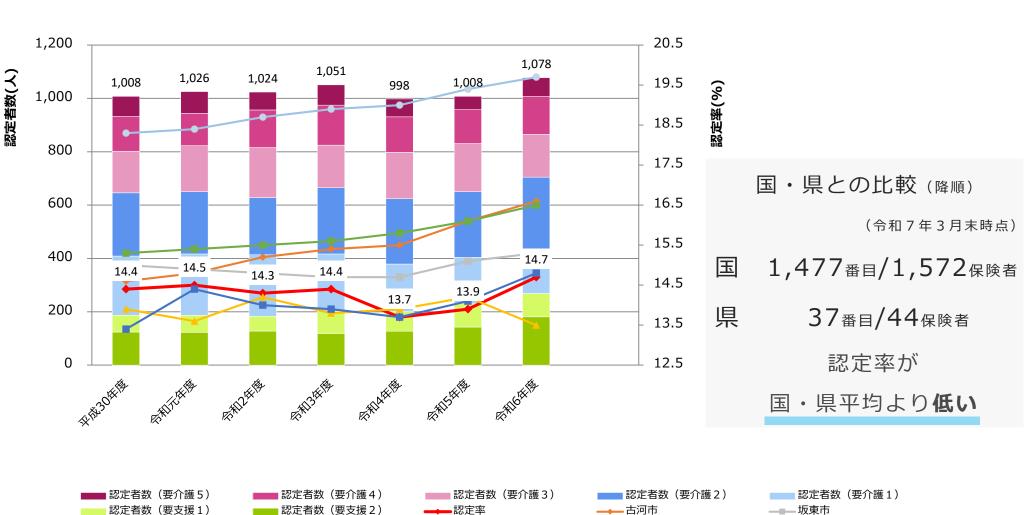
2025年 14,208人

2030年 13,724人

2040年 11,941人

急激に減少

境町の要介護(要支援)認定者数、要介護(要支援)認定率の推移



全国

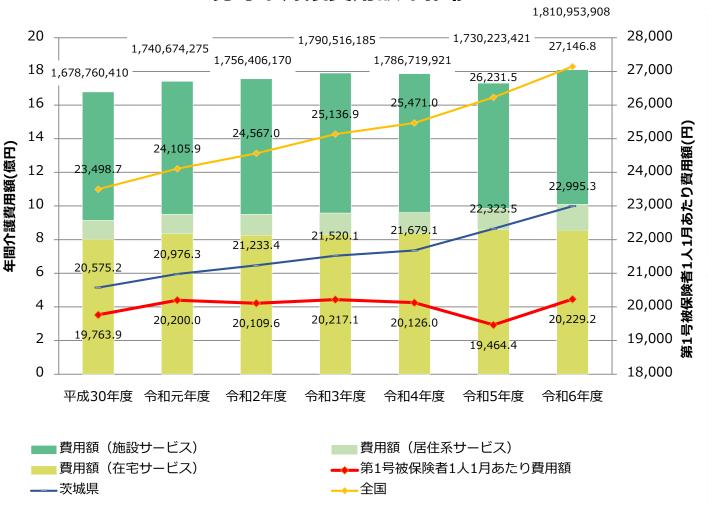
(出典) 平成29年度から令和4年度:厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和5年度から令和6年度:「介護保険事業状況報告(3月月報)」

------ 茨城県

八千代町

- 五霞町

境町の介護費用額の推移



国・県との比較 (降順)

国 1,507番目/1,573保険者

県 37_{番目}/44_{保険者}

介護費用額

国・県平均より低い

サービスの動向

施設サービス 居住系サービス 在宅サービス

すべて年々増加傾向

※令和5年度 施設サービスを除く

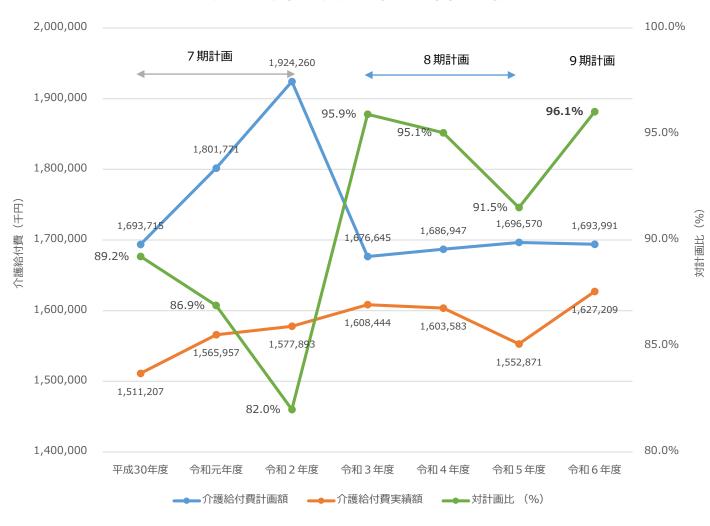
境町介護給付費の実績と計画の比較

				第7期			第8期			第9期	
			H30~R2 累計		R3~R5 累計			R6			
			計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
施設サービス	小計	(円)	2,364,254,000	2,115,510,163	89.5%	2,255,379,000	2,150,731,001	95.4%	718,709,000	717,261,038	99.8%
	介護老人福祉施設	(円)	1,237,401,000	1,101,573,227	89.0%	1,131,150,000	1,143,839,352	101.1%	378,086,000	368,128,162	97.4%
	介護老人保健施設	(円)	1,090,001,000	1,001,199,435	91.9%	1,110,917,000	970,985,316	87.4%	328,032,000	332,488,421	101.4%
	介護医療院	(円)	0	1,732,525	=	0	13,304,528	=	12,591,000	15,915,736	126.4%
	介護療養型医療施設	(円)	36,852,000	11,004,976	29.9%	13,312,000	22,601,805	169.8%	0	728,719	-
居住系サービス	小計	(円)	334,101,000	310,817,130	93.0%	342,465,000	329,928,013	96.3%	149,624,000	138,218,496	92.4%
	特定施設入居者生活介護	(円)	92,892,000	85,044,275	91.6%	104,249,000	97,551,852	93.6%	39,466,000	33,132,334	84.0%
	認知症対応型共同生活介護	(円)	241,209,000	225,772,855	93.6%	238,216,000	232,376,161	97.5%	110,158,000	105,086,162	95.4%
在宅サービス	小計	(円)	2,721,391,000	2,228,729,338	81.9%	2,462,318,000	2,284,238,882	92.8%	825,658,000	771,729,351	93.5%
	訪問介護	(円)	277,224,000	187,031,912	67.5%	199,917,000	175,422,181	87.7%	58,658,000	55,067,129	93.9%
	訪問入浴介護	(円)	31,562,000	22,575,610	71.5%	29,005,000	10,759,685	37.1%	4,324,000	3,385,190	78.3%
	訪問看護	(円)	62,432,000	52,124,191	83.5%	51,010,000	64,395,015	126.2%	32,148,000	31,754,653	98.8%
	訪問リハビリテーション	(円)	16,272,000	7,566,938	46.5%	9,200,000	10,755,784	116.9%	4,799,000	2,789,838	58.1%
	居宅療養管理指導	(円)	27,317,000	22,533,387	82.5%	31,622,000	30,049,569	95.0%	13,085,000	11,940,120	91.3%
	通所介護	(円)	589,968,000	559,579,096	94.8%	531,996,000	579,056,530	108.8%	209,219,000	184,829,999	88.3%
	地域密着型通所介護	(円)	200,337,000	82,017,433	40.9%	81,663,000	57,123,210	69.9%	18,280,000	14,593,569	79.8%
	通所リハビリテーション	(円)	633,641,000	581,850,596	91.8%	673,484,000	575,207,840	85.4%	190,942,000	201,725,638	105.6%
	短期入所生活介護	(円)	337,110,000	213,250,931	63.3%	263,988,000	224,928,897	85.2%	91,198,000	80,405,370	88.2%
	短期入所療養介護 (老健)	(円)	64,803,000	85,631,720	132.1%	145,784,000	109,334,809	75.0%	43,055,000	30,840,954	71.6%
	福祉用具貸与	(円)	153,893,000	140,228,158	91.1%	151,280,000	165,170,301	109.2%	57,746,000	59,673,861	103.3%
	特定福祉用具販売	(円)	11,355,000	3,797,234	33.4%	4,134,000	4,782,139	115.7%	1,986,000	2,091,190	105.3%
	住宅改修	(円)	34,308,000	17,239,766	50.2%	19,083,000	13,420,083	70.3%	6,199,000	4,320,830	69.7%
	介護予防支援・居宅介護支援	(円)	271,004,000	253,302,366	93.5%	270,152,000	263,832,839	97.7%	94,019,000	88,311,010	93.9%

【実績値】厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5年,令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)。ただし「第7期の短期入所療養介護(病院等)には短期入所療養介護(介護医療院)が含まれる。」「第7期の短期入所療養介護(介護医療院)は単独の計画値がないため実績値のみ表示している。」「施設サービスの利用者数については、同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設ごとにそれぞれ利用者数を1人と計上するが、小計には1人と計上している。」

【計画値】介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

境町介護給付費の実績と計画の比較



8期計画及び第9期計画 (令和6年度)の実績

計画見込額を

4~5%程度下回る



軽度・中度者の増加

が考えられる

<出典>【実績値】厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和5年,令和6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) 【計画値】境町介護保険事業計画

【参考】介護保険事業計画に記載した「自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組と目標」

【自己評価】 ☆:目標を上回っている(数値目標がある場合、達成率101%以上)、◎目標を達成している(同80~100%)○:目標を概ね達成している(同50~79%)、△:目標を下回っており、努力が必要(同30~59%)

【自己評価】 ☆:自標を上回うている(数個自標がある場合、達成率101%以上)、◎ 自標を達成している(同80~100%)○:自標を概ね達成している(同50~/9%)、△:自標を下回うており、努力が必要(同30~59%)										
		第9期介護保険事	業計画に記載している内容	令和6年度(年度末実績)						
	区分	現状と課題	具体的な取組	目標	実績	取組みにより得られた効果 または 今後期待される効果				
	主宅医療・介護の支援	第9期高齢者ニーズ調査では、 73%の方が自宅での在宅医療や介護を希望していることから、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供が求められる。関係機関との連携を強化し、地域ニーズの把握、課題検討等に取り組むことにより、目標及び対応策を具体化していく。	◆在宅医療・介護連携推進会議の開催◆在宅医療・介護関係者への相談窓口の設置◆医療・介護関係者及び住民への研修会の開催	●在宅医療・介護連携推進会議の開催 1回 ●在宅医療・介護連携相談件数 120件 ●研修会の開催(住民向け) 1回(80人) ●研修会の開催(専門職向け) 2回(100人)	●在宅医療・介護連携推進会議の開催 1回 ●在宅医療・介護連携相談件数 102件 ●研修会の開催(住民向け) 1回(35人) ●研修会の開催(専門職向け) 2回(72人) 【自己評価】	住民向けの研修会では、「在宅医療と人生会議」をテーマに、在宅医療に従事する医師による講演を実施した。訪問看護や患者本人の希望に応じたアドバンス・ケアプランニング(ACP)の必要性を認識できたとの声があり、有意義なものとなった。こうした機会を通じ、在宅医療に関する住民の理解を深めていきたい。また、在宅医療・介護連携推進事業の取り組みにより、関係職種の知識向上と連携強化が期待される。				
	也域包括ケアシステムの 構築	身寄りのないひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、相談内容が多岐にわたっていることから、地域包括支援センターの機能強化が求められている。自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの重要性を含め、介護支援専門員への支援や育成、地域ケア会議の推進が課題となっている。	●行政包括連絡会議の開催 ●地域ケア推進会議、個別ケア 会議の開催 ●ケアプランチェックの実施 ●介護支援専門員の研修機会の 確保	●地域ケア推進会議 1回●地域ケア個別会議 8回●ケアプランチェック 80件	 ●地域ケア推進会議 1回 ●地域ケア個別会議 9回 ●ケアプランチェック 78件 運営指導 3件 自立支援 54件 アドバイザー派遣 6件 福祉用具 11件 ショートステイ 4件 【自己評価】 ◎ 	ケアプランチェックについては、計画を上回る件数の点検を行うことができた。ケアプランチェックの実施により、給付適正化及び介護支援専門員の意識・資質の向上が期待できることから、今後もこうした取組を継続していくまた、個別事例の検討を通じて、地域ケア推進会議で実効性のある協議を行い、在宅医療・介護連携推進会議や認知症施策との連携を図ることで、地域課題の整理・解決につなげていく。				
i	忍知症対策の強化	国が定める「オレンジプラン」に 基づき、認知症になっても本人の 意思が尊重され、できる限り住み 慣れた地域の良い環境で暮らし続 けることができる社会の実現を目 指す。 一方で、認知症に関する相談窓口 等について、約70%の方が「知ら ない」と回答しており、認知症施 策の普及が課題となっている。	●認知症初期集中支援チーム員会議の開催 会議の開催 ●認知症ケア向上のための研修会の開催 ●認知症サポーター養成講座の開催 ●認知症サポーター、本人・家族の会)の実施	●認知症初期集中支援チーム員会議 支援対象者10人 ●認知症ケア向上のための研修会 参加者180人 ●認知症サポーター養成講座 参加者300人 ●認知症サポーターステップ アップ講座 1回 ●認知症カフェ 1か所	●認知症初期集中支援チーム員会議 支援対象者8人(うち2人はR7支援継続) ●認知症ケア向上のための研修会参加者 延べ204人 ●認知症サポーター養成講座参加者 17人 ●認知症サポーターステップアップ講座 1回 ●認知症カフェ 1か所【自己評価】 ◎	認知症初期集中支援チームの介入により、認知症等の理由から生活課題が生じている対象者へ効果的な支援を実施することができた。 認知症サポーター養成講座は、計画値を下回る結果となった。今後は、小中学生を対象に定期的に講座を開催する等、継続的な活動ができるよう、体制を整備していく必要がある。 現在、地域包括センターが中心となっているが、今後はキャラバンメイトとの連携を図り、行政主導ではなく、主体的に活動できるような体制を構築していきたい。				
	人生100年時代を見据え こ健康づくり	第9期介護保険事業計画作成に当たり実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、約20%の高齢者が、外出の頻度が週1回以下のいわゆる「閉じこもり傾向」にあった。就労・余暇活動・健康維持等の活動が、自立支援や介護予防に重要な役割を果たしていることから、一般介護予防事業をはじめとする総合事業の推進を図る必要がある。	●シルバーリハビリ体操教室の 普及啓発 ●基本チェックリスト配付→75 歳到達者の健康状態把握、予 防事業の啓発、短期集中型通 所サービス利用者の発掘 ●リハビリテーション専門職に よる体力測定	 短期集中型通所サービス 24人 シルバーリハビリ体操教室 16か所 基本チェックリストの配付・ 回収 380件 リハビリテーション専門職に よる体力測定 24回 	 短期集中型通所サービス26人 シルバーリハビリ体操教室16か所(参加者延べ人数2,309人) 基本チェックリストの配付・回収配付399件回収380件 リハビリテーション専門職による体力測定 11回【自己評価】 ◎ 	シルバーリハビリ体操教室については、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や事前申し込み制等の感染対策を講じ、規模を縮小して開催していたが、今年度から自由参加としたことで、参加者数が大幅に増加した。要介護認定率は、計画値では14.5%であったのに対し、実績値は14.7%であり、計画値をやや上回る結果となった。より多くの高齢者が生きがいを感じて生活できるよう、新たな通いの場の創出に努めていきたい。				

地域包括支援センターは 高齢者の総合相談窓口です

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援するための拠点です。介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関するさまざまな支援を行っています。

境町では、ファミール境へ委託をしています。



地域包括支援センターが行っている主な支援

自立した生活が できるよう 介護予防をすすめます



要支援1・2および事業対象者 の方の介護予防ケアプランなど を作成して、効果を評価します。

介護に関する悩みなど さまざまな相談に 応じます



介護が必要な高齢者やその家族 のために、介護に関する相談の ほか、福祉や医療など、さまざ まな相談を受け付けています。

高齢者のみなさんの 権利を守ります



消費者被害などへの対応、成年 後見制度の利用支援や、高齢者 の虐待防止や早期発見・早期対 応などに取り組みます。

暮らしやすい地域づくりに 取り組んでいます

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす ことができるよう、介護サービス事業者や医 療・行政機関のネットワークづくりを進めて います。

また、主任ケアマネジャーが地域のケアマネ ジャーの支援・指導を行い、質の高いサービ ス提供に努めます。



境町地域包括支援センターファミール境 TEL:0280-87-7111

地域ケア個別会議・ケアプランチェック (一部抜粋)



地域ケア個別会議

地域包括支援センターが開催し、個々の事例検 討を通じて、多職種によるケアマネジメント支 援と地域ネットワーク構築を目指す役割が期待 される



ケアプランチェック

介護給付費適正化事業の一環として、適正・適額なサービス給付が図られるよう、専門職によるケアプランチェックを各事業所へ実施している

在宅医療・介護連携の推進(一部抜粋)



在宅医療・介護連携推進会議

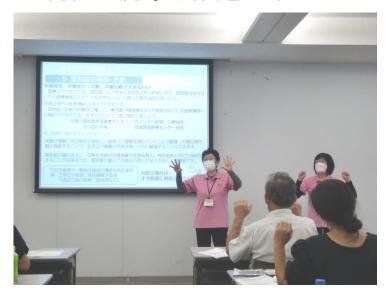
住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域における在宅医療・介護の関係機関との連携・協議の場に参加



在宅医療・介護に関する研修会

一般町民や在宅医療・介護・福祉に携わる専門職を対象に、在宅医療の実際や各職域に係わる理解を深めるための研修に参加

認知症施策の推進(一部抜粋)



認知症サポーター養成講座

認知症の正しい理解の普及・啓発を目的として、 認知症サポーター養成講座を、地域包括支援センターが開催している。また、キャラバンメイト研修受講者もサポートしている



認知症初期集中支援

認知症(疑いを含む)のある方、その家族の元へ訪問して、受療支援や複合的な困りごとの相談を、早期かつ集中的に、地域包括支援センター職員及び行政職員が対応

(3)介護保険事業計画について

第10期介護保険事業計画の 作成に向けたスケジュール

令和7年度

- ・委託業者の選定・計画策定のための調査分析・準備
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・在宅介護実態調査

令和8年度

4~9月

10月

10~11月

12月

1月

2月

3月

- ・調査結果、サービス給付実績等を分析・考察 内容検討
- ・事業所向け実態調査
- ・第1回策定委員会(計画概要・スケジュール・各種調査結果について)
- ・サービス見込み量の推計作業(初回)
- ・県ヒアリング・精査
- ・サービス見込み量の推計作業(2回目)、保険料仮査定、計画素案作成
- ・(第2回策定委員会(計画素案確認・サービス見込み量等精査))
- ・パブリックコメント
- ・第3回策定委員会(計画内容精査・保険料額決定)
- 議会報告、介護保険条例の改正

令和9年度 **境町高齢者福祉計画・第10期介護保険計画**の開始